

ストップ！農作業事故
「いのちを守れ」キャンペーン
から見えてきたこと
～事故が起きるとどうなるか

日本農業新聞 ニュースセンター部

鈴木 祐子

キャンペーンの狙い

- 過去40年間、農作業中の死亡事故が400件前後と減らないことへの憤り
- 労働者でも経営者でもある農家のいのちを守る仕組みがない。「事故は個人責任」
- 他産業に比べて農業だけが遅れを取っている現状を変えたい

→2009年10月～10年7月まで長期連載。

現在も「いのちを守れ」として継続中。

第1部「悲しみのさきに」

あるじ亡きいま...



担い手だった兄の白か日法要で手を合わせる繁信さん(熊本県天草市で)

悲しみの
さきに
いのちを
守れ 第1部

美田、荒れるまま

消える担い手

10月2日。大雨の中、熊本県西部の天草下島の村。熊本市から2時間以上かけて島に通い、亡き父の田舎等々てた。

兄が多量に。当時57歳。が田舎を目前に控えた6月、トラクターの下敷きになってしまった。熊本市から2時間以上かけて島に通い、亡き父の田舎等々てた。

午後9時すぎまで作業を続ける。農道に出ようと、1分下の水路に転落。翌朝、冷たくなった。

急峻(きゅうしん)の下敷きになってしまった。熊本市から2時間以上かけて島に通い、亡き父の田舎等々てた。



たオタルと、渡辺さんが着ていたシャツで腕を縛って血を止めた。規模が大きければ、地域の人手がなければ、地域の農業も危機が及ぶ。現在、右腕だけで事務や簡単な農作業も開いた。

伝えたかったこと
農家1人の死は...

- ・ 地域営農に影響を与える。
- ・ 担い手が減る
- ・ 耕作放棄地発生
- ・ 集落営農の存続危機も

ストップ農作業事故

存続の危機も
全国の農家戸数は1950年から減少の一途をたどっている。販売農家全体でもの1年間で5万1000戸減り、2009年は69万9000戸になった。農地は担い手に集まる。中でも集落営農は地域の期待を背負う存在だ。

宮城県石巻市の集落営農組織「愛入(あいれ)営農組合」は、集落営農として、65歳以上の高齢者、大豆、野菜を栽培する。その担い手である渡辺幸彦さん(51)は8月、大豆の中耕培土の作業中、費用管理機に左

「農作業中の事故体験」を語り、ハット体験も、それを教訓に何か対策をするようになった。手記をお寄せください。住所、氏名、年齢、連絡先を明記し、〒108-8702 日本農業新聞「ストップ農作業事故」キャンペーン取材班、ファクス03-(0666)74906、アドレスは sakata@agnews.co.jp

右腕、右眼、
背中、わき腹
そして心も。

2 七

「作業の邪魔になる」と義手は付けない松本さん。右腕をなくしても借金返済は続く（宍手県八幡平市で）

効率優先あだ
水田が続く金沢市二俣町。水稲と杉を経営する

人生一變

年暮いた夫の両親のため
に、左手に包丁を握り食
事も作る。

大げがを負っても酪農
を続けるのは、規模拡大
で背負った億単位の借金
を返さなければならぬ

心と体に傷深く……

此見(このみ)勇さん
(65)の右目は、プラス
チックの義眼だ。

2年前の夏、刈り払い機の事故で右目を失った。地元住民5人のために池の雑草を刈り取って

す」日々だ。

目を守るゴーグルは持っていた。だが「汗でレンズが曇る。効率的に作業ができず、外してしまつた」と悔やむ。事故の後、周辺の農家は皆ゴーグルを装着するようになった。



労働者1000人当たり
年1人何人が労災に遭遇
したかを示す千人率。中央労働災
害防止協会「安全の指標」によ
ると、農業は13.5、畜産は27.1と建
設業の8.5より高い。それだけ危
険産業といえる。他産業にも増し
て労災対策が欠かれない。

農機具の運転は「兄よう
見まね」で習得。きちんと
安全研修を受けた
ことは、度もなかった。
今も重荷物は持たず、
農作業ができない。妻や
80歳超える義理の父母
の農作を、ただ黙って
しかね。

(キンペー)取柄(班)

に上る約60万台。安価で手軽な半面、傷害事故が最も多く、危険度は高い。

上田信男さん(66)は、妻の実家がある岐阜県郡上市高鷲町にイターンし、農業を始めて3年目に、トラクター事故に見舞われた。

ストップ農作業事故

ストップ農作業事故

どの手休効も足る。昔狂た。
骨には長き袴のボルト
が8本埋まる。肋骨ト
つこつ6本を折り、完
た時トマターの前輪
治の足込めない齧縫せ
が浮き上がり、両肩
さすじの胸を負た。は
すのブレキペルを
「将来を考えるに不安
左け脇込み、4膝
で眼れない夜もある」と
落、もつとつとする意識

事故に遭う
 →家族が悲しむ
 →作業、経営の負担が重くなる
 →規模縮小
 →収入減

事故によって「負の
 パイラル」に陥る

悲しみの まなざしに

あつた
 づれ 第1部

コスト予想外

取り留めると言われた
 が、夕方になって身体が……。1年を経て、

「ある程度、心の準備

高橋さんが事故を起こしたのと同じようなタイプに果敢と、レノコ作業用車が高くて、なっている不安定な声もある。(新潟県長岡市大口地区)

揺らぐ経営

縮小は避けられず

業事故で亡くなった。吉岡さんは当時、大阪市市場観察に出かけていた。

母はミツの本に登って摘果をしていた。足場

和島市街の深夜バスには、根元の樹皮がはがれ

飛ひ乗った。車中では、樹皮が落ち、

睡もできなかった。自宅

に着くと、静かに横たわ

れやすくな。【悪い夏にちよとで

の栽培をやめた。母が亡

る中、支出はかさむ。方

員からの電話だった。16

トフターごと落下し、1



だ。

貴重な担い手が失

子(46)は職場の新

潟県庁で父の悲報を受

に努力を補った。コス

た。その時の農家は

トがしり経営にのし

年齢層別の農業就業人口10万人当たり
 農作業事故死者数(1998～2007年の平均)



農水省の農作業死亡
 事故調査によると、19

98～2007年の農業就業人口10万人
 当たりの死者は70歳以上で16.3

人。69歳までの平均7.2人の2.3倍
 に高まる。年を取ると俊敏性などの

ストップ農作業事故

は感じて。【お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

収入減で断念

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

地を移動する時に農道か

たで栽培していた。だが

含し、稲作などに経営を

「お父さんが病院に運

転(うつろ)作業で農

ゆとりなくし
襲う過労死
対策は個人で
は「限界に」

悲しみの

4 二 八

いのちを
守れ
第1部

規模拡大に追われ、疲
勞が農家の命を奪う。地
域は貴重な担い手を失
い、行き場のない農地は
宙に浮く。

取引先に打撃

二番茶が終盤を迎えた
6月17日午後1時すぎ。

静岡興牧、原市農家、石田主ん(61)「仮名茶歌の端は、機械がひたどと振返る。製茶場を24時間フル稼働させた、前日の大雨で雨漏りした場を徹夜で直したと重かった。葬儀の直後、5・6日は地中に返還した。しか

の瘦れがヒークに達していたとみられる。

で

7・5 茶栽培 周辺の農家から34万の生葉を買い入れ、荒茶に加工する規模経営としていた。当時、荒茶市場にいた恵の一郎さん(34)は「仮名は『瘦れた手』が低評する中、販路が広がらなければ、茶園の

宙に浮く農地

大規模集積
逆戻り

静岡岡牧の原市の農家、傾斜がかかる。20日ある
石田正さん(61)「仮名 茶畝の端には、機械がう
り、昼食後に眠くなった 荒廃に拍車を掛は
よた」と振り返る。製になりかねない。

過勞死も同然

機械ごと転落して亡くなるにはハンドルを手前か雨漏りした工場の徹夜で直したことも重なった。機械は石田さんから中央に戻せば済む。だ

埼玉県川越市の稲作農家、真仁田淳さんは6月4日、代かき作業に向かう途中、トラクターの運

転席で亡くなった。62歳だった。発見者は、別の水田で田植をしていた妻の美代子さん(58)。

た。狭い農道で前輪をはえたが、7畝は借地であり出し、車体を傾けた状態だった。水田は50枚に分散していた。耕作放棄されていた。

「疲勞が相当たまって小さな水田もあった。事

いたみたい」と美代子さん。淳さんを知る多くの子さんと勤め人の息子、関係者も「過労死だった」と口をそろえる。

淳さんは地元で会社経の草刈りを手伝ってくれ
 営の傍ら農業の規模を拡大した。

大し、60歳で稲作専門になった。今年は8畝に増



「い」と悩む。多くの水田
(次回は27日付)

を地権者に戻し、規模を

縮小するつもりだが、ストップ農作業事故ま

「貸す側も高齢化など耕ヤンペーンへのご意図」

「せない事情がある」。無や、あなたのヒヤリ・公

理に返せば、耕作放棄に
ツト体験をお寄せくださ

つなぐことができる。つまり、
「つながる」ということが、

るが、出口は見えない。
アドレス seikatsu@an-

(キャンペーン取材班) rinews.co.jp

rinews.co.jp

7歳男児、6歳女児。
 事故は幼子まで巻き込む。
 →家族の人生が大きく狂う。

「わしらのような悲しみを味わってほしくない」

悲しみのつらさに

あつちのつらさに

農機は乗らぬ
 「もう一生、農機に乗るつもりはない」

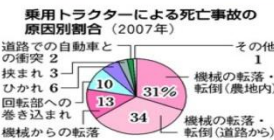
長野県田町の北原徳永さん(48)は、農機事故で長男の晴輝君(当時7歳)を亡くし、生産現場から離れた。事故から5年、生活は平穏を取り戻したように見える。しかし、今でも家族は晴輝君のことをあて口にしていない。

2004年4月1日、その日は晴から、妻の実家の田んぼでトラクター

わが子が、孫が…

閉ざされた未来

「妻の生き残った証を残したい」と絵を描き続けることを誓う肥塚さん(兵庫県小野市)



農水省の農作業死亡事故調査(2007年)によると、死亡者397人のうち115人(29%)が乗用型トラクターに関係する事故だ。うち65%は田畑や道路での転落・転倒で、圧倒的に多い。次いで機械からの転落、回転部への巻き込まれの順だ。

ストップ農作業事故

写真を頼りに、これまでだ。

(キヤンペリ取材班)

やんが連部分のすき間

に転落し、トラクターに

巻き込まれた。10日前に

た。だが、家族は違った。聖奈さんの母親に

「孫が生き残っていたか

3、4人の犠牲者を出している。特に幼子を出して

いた遺族の傷跡は深い。ま

ったというあまりに大きな

衝撃。一方で妻は掛っ

かったのは、家族が未だ

一生かけ償う

農作業に従事しない15

歳未満の死亡事故は03年

に転じた。トラクターに乗っ

ていた孫の聖奈ちゃん

いう恐れだった。

に転じた。トラクターに乗っ

ていた孫の聖奈ちゃん

に転じた。トラクターに乗っ

ていた孫の聖奈ちゃん

労災保険、加入者わずか5%。

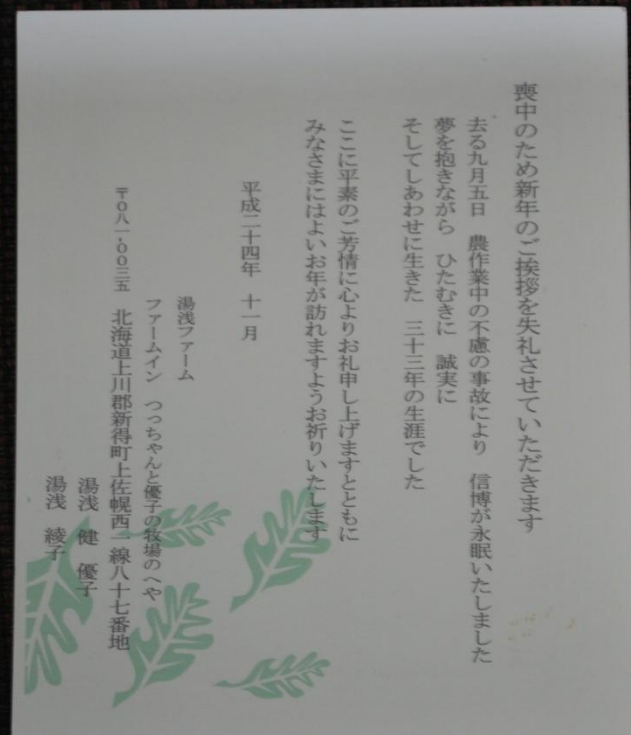
ストップ農作業事故



そして今も。

昨年末、届いた喪
中はがき。

33歳の担い手が死
亡、若妻、幼子2人
が遺された。



悲しみを繰り返さないために。

他産業が事故を大幅に減らす中で、
40年間、約400人が死に続けるのは異常。
(毎年、ジャンボジェット機1機が落下している)
→安全を個人任せにするのは限界。

地域、集落ぐるみで安全を確保する仕組みが
必要。「安全はただではない。つくりだすもの」
→交通安全のように粘り強く、繰り返し、研修な
どで地域の安全を啓発するべき

食料自給率の向上
食の安全・安心
他産業並みの所得
規模拡大
鳥獣害防止
担い手育成・・・・

すべては農業者の「いのち」を守ることから。
今こそ政府、業界、産地上げて現状打開を